

40th

HOKUREI
JUNIOR-SENIOR
HIGH SCHOOL

ANNIVERSARY 2025
Since 1986

北嶺

2025 - 2026
HOKUREI JUNIOR-SENIOR
HIGH SCHOOL

嶺

充実した6年間の学習・生活サポート体制
東京大学、国公立大学医学部医学科などの
難関大学進学をめざす

目は高く足は大地に
めざすなら高い嶺

青雲寮コース

COLD

SHOP



学校法人 希望学園

北嶺中・高等学校

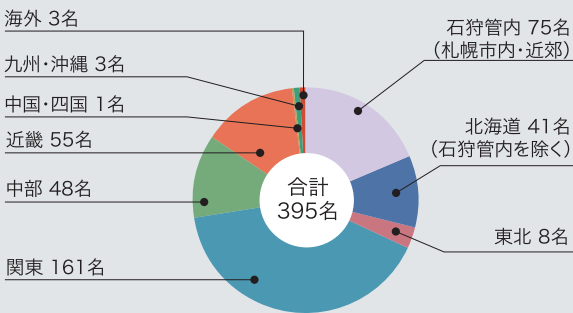
東京大学・国公立医学部医学科・難関大学合格をめざす

北嶺中入試で選抜された青雲寮コース生は、きめ細かな生活支援、充実した学習サポートプログラムを受けることで、目標とする難関大学合格をめざします。学力の向上はもちろんのこと、決められたルールのもとで生活を送ることで、自立心を身につけるとともに、6年間寝食をともにする仲間との絆を深めることができます。青雲寮で過ごした仲間は、自分を支えてくれる一生の友人となることでしょう。

全国から注目される寮へと成長 27都道府県（＋海外）から集まる395名が生活

青雲寮コースが開設されて12年が経ち、青雲寮での充実した学習・生活サポートが注目を集め、青雲寮コースを希望する受験生が徐々に増加しました。2025年度の北嶺中学校入学試験では全国から約500名の受験生が青雲寮コースを希望し、選抜された70名が新たに入寮しました。2025年4月現在、全国27都道府県（＋海外）から集まった395名が青雲寮で共同生活を送り、互いに切磋琢磨しながら現役での難関大学合格をめざします。

寮生の出身地



全国27都道府県（海外）から集まった青雲寮コース生（名） ※2025年4月現在

※出身小学校の所在地で分類（名）

北海道 116				東北 8		関東 161		中部 48		近畿 55		中国・四国 1		九州・沖縄 3		海外 3	
石狩管内	75	上川	6	青森県	1	茨城県	2	新潟県	2	滋賀県	1	岡山県	1	福岡県	2	台北	1
札幌市内	72	留萌・宗谷	2	岩手県	1	栃木県	3	石川県	2	京都府	5			沖縄県	1	バンコク	1
札幌近郊	3	オホーツク	2	宮城県	4	群馬県	2	福井県	1	大阪府	30					モスクワ	1
空知	6	十勝	4	福島県	2	埼玉県	6	山梨県	1	兵庫県	17						
後志	2	釧路・根室	2			千葉県	11	岐阜県	2	奈良県	2						
胆振・日高	10					東京都	96	静岡県	10								
渡島・檜山	7					神奈川県	41	愛知県	30								
																合計	395



生涯の友と出会う青雲寮コース

青雲寮コース生は、以下の目標達成をめざして生活します

青雲寮の 目標

1. 教科学習を中心とする勉学に取り組み、互いの向上発展に努める。
2. 相手を尊敬し、互いに信頼し合い、豊かな友情を育むことに努める。
3. 規律正しい共同生活を重んじ、礼儀正しく、北嶺の生徒としての品位を身につけるように努める。

難関大学合格をめざす、高い目標をもった生徒を支援します

北嶺中・高等学校は開校より全人教育をめざし、心豊かな人材を育成する一環として、希望者が入寮できる「青雲寮」を併設しました。

2013年度より、青雲寮を希望する寮生への生活・学習支援体制をさらに整備し、現役で東京大学や国公立医学部医学科などの難関大学の合格をめざすことができるよう、新たに「青雲寮コース」を開設しました。

進学実績が伸びるとともに、全国各地から「青雲寮コース」に注目が集まり、今では北嶺中入試の結果で入寮生を選抜するほどの寮へと成長しました。

青雲寮コース生は、寮生限定の夜間講習を受講できるとともに、寮専門の学習スタッフ（寮教諭）や北嶺OBチューターからの学習指導も受けられます。学習習慣を定着させるとともに、学習意欲も最大限高められる良き環境が青雲寮にはあります。

また、寮母や養護教諭（看護師）をはじめとした多くの寮スタッフに見守られながら安心して生活を送ることができ、6年間の寮生活で自立心も獲得することができます。

さまざまな個性を持つ「志」の高い仲間と毎日の寝食をともにし、「青雲寮コース」で自分の「夢」を実現させてみてはどうでしょうか。そして、6年間ともにした仲間は一生の友人となるはずです。



寮監長

井口 一司

Kazushi Iguchi

青雲寮コースの充実したプログラム

1 多様な専門スタッフによる 「フォロー体制」

青雲寮には生活や学習を支える「寮監・寮母・寮教諭・養護教諭（看護師）」がいるため、安心して6年間の生活を送ることができます。

2 学習指導 夜間講習

学校の先生や寮教諭による「寮生限定の夜間講習」を実施しています。学習時には、個別の質問にも対応します。

3 専属スタッフによる 個別指導

学習につまずいた寮生には、専属の寮教諭が個別学習指導を行います。

4 北嶺OB大学生（医学部生）・現役 医師チューターによるサポート

本校を卒業した医学生や現役医師が毎日青雲寮を訪れ、寮生への学習サポートや進路相談を行っています。

5 外国人講師による 「英会話教室」

中学1・2年生を対象に、「英会話教室[SEA]」を開講し、グローバルプロジェクトのさまざまな取り組みに備えます。

6 北嶺OBによる 講演会・座談会の実施

大学生活を知り、職業観を育む進路指導の一環として、本校OBによる講演会や座談会を実施しています。

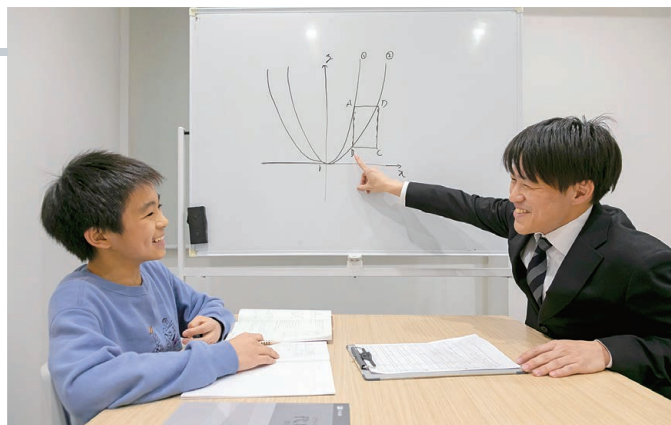
《 青雲寮コース生の学習 》

青雲寮コース生は19:00からの約3時間半、寮教諭や北嶺OBチューターの学習支援を受けながら学習に取り組めます。中学生は個別のブースが与えられた学習室、高校生は自室または自習教室等で自主的に学習に向き合います。また、中学生・高校生ともに、学校の先生や寮教諭による「夜間講習」(中学生は必修)を受講することができます。

中学生の学習

(19:00～21:00, 21:30～23:00)

中学生は、個別ブースが与えられた学習室で勉強に取り組めます。北嶺では国数英を中心に毎日宿題が課せられるので、寮教諭や北嶺OBチューターのサポートを受けながら学習を進めます。学習室にはたくさんの学習指導スタッフがいるため、いつでも質問をすることができ、学習効率を高めることができます。また、国語・数学・英語の3教科は、学校の先生や寮教諭による「夜間講習」が必修となっているため、基礎学力の定着を図ることもできます。



高校生の学習

(19:00～21:00, 21:30～23:00)

高校生は自主性を重んじ、自室または自習教室等で個別に学習に取り組めます。高校3年生は一人部屋となり、自室でより一層集中して勉強することができます。高校生も学校からの宿題や課題をたくさん与えられるため、巡回する寮教諭や北嶺OBチューターの支援を受けながら学習を進めていきます。高校生の「夜間講習」への参加は希望制となりますが、高校3年生はほぼすべての教科・科目の講座が開設されており、学習意欲の高い青雲寮コース生は積極的に参加しています。



青雲寮コース限定 特別学習指導・進路指導

青雲寮コース生は、青雲寮に用意されたさまざまな学習・進路指導を受けることができます。自分で学習を進めることが苦手であっても、多彩な学習プログラムによって、スムーズに勉強に取り組めるようになります。



学習意欲がアップする 多彩な学習・進路プログラム

special
1

学校の先生・寮教諭による 寮生限定の「夜間講習」指導

学校で実際に授業を担当している学校の先生や寮教諭が、平日の毎日19:00から1時間程度、青雲寮コース生の学習をサポートする「夜間講習」を実施します。中学生は参加が必修となり、習熟度別(2つのコース)の国語・数学・英語の「夜間講習」が開講され、授業の復習を中心に発展的な学習にも取り組みます。高校生は希望者の参加となりますが、授業の復習を中心に大学入試問題にも挑戦します。

学校の授業と連動した内容となるため、青雲寮コース生は基礎学力をしっかりと定着させることができます。難関大学へ多くの生徒を合格させた先生方を信じ、青雲寮コース生は意欲的に「夜間講習」に参加しています。



青雲寮コース生「夜間講習」(平日19:00～)※中学生は全員参加 ※2025年実施例

	中学1年生	中学2年生	中学3年生	高校1年生	高校2年生	高校3年生
月曜日	英会話[SEA]	英会話[SEA]	国語A/B	英語A/B	生物	地理/日本史/世界史
火曜日	英語A/B	数学A/B	数学A/B	—	数学A/B	数学
水曜日	—	英語A/B	英語A/B	国語A/B	英語A/B	物理/生物
木曜日	数学A/B	—	—	数学A/B	物理	英語
金曜日	国語A/B	国語A/B	—	—	化学	化学

special
2

学校と寮が連携・連動 寮教諭 個別学習指導

※寮教諭：寮生の学習指導や生活支援を行うとともに、午後の学校の授業も担当するスタッフのことです。

学校の先生と寮教諭の連携により、学習状況やテストの結果が思わしくない寮生がいた場合は、個別指導を専門とする寮教諭が学習指導を行います。実際に学校の授業を担当する寮教諭は、学校の先生と密に情報共有をすることで、寮生の学習状況をつねに把握し、寮生が学習に遅れないよう、適切な指導やアドバイスを行います。個別指導を行う寮教諭の存在は、青雲寮コースの大きな魅力の一つになっています。



青雲寮コース限定 特別学習指導・進路指導

北嶺での学習や生活、大学受験を知りつくした北嶺OBチューターによる学習指導・進路指導は、後輩である青雲寮コース生には心強いものとなります。

また、北嶺OBによる特別講演会、外国人講師を招いた「英会話教室[SEA]」も行っています。

special
3

北嶺OBによる特別講演会

進路選択の一助として、大学や社会で活躍する北嶺OBを青雲寮に招いた「特別講演会」を実施しています。東大生による「東大での学生生活」や「脳科学研究」、京大生による「物理気象学」、阪大生による「生物の発生のしくみ」、獣医学部生による「環境保全と野生生物」、医師による各種講演をこれまでに実施しています。講演会後はさまざまな質問が飛び交い、寮生がいろいろな職業や学問を知る絶好の機会となっています。寮生は北嶺OBチューターをはじめ、多くの北嶺OBと触れ合う機会が多く、難関大学進学へのモチベーションを高めることができます。



special
4

北嶺OBチューターによる学習・進路指導

北海道大学医学部医学科や札幌医科大学医学部医学科など、難関大学に所属する約40名の北嶺OBチューターが、青雲寮コース生の学習・進路指導を行います。毎日3～4名のチューターが交代で青雲寮を訪問し、中学生の学習室に常駐する他、高校生の自室や自習教室を巡回して学習の質問への対応を行います。チューターは学校や青雲寮でともに生活した身近な先輩のため、勉強法、参考書選び、実際の大学生活や大学での勉強・研究などを気軽に聞くことができます。成功した先輩との触れ合いを通じて、青雲寮コース生は大学進学意欲をさらに高めることができます。



special
5

その他の学習(希望者)

希望する寮生には、オンライン英会話学習・Atama+・サテライン授業の受講を認めています。ただし、過去の先輩方の多くは、学校のカリキュラム・青雲寮コースで用意している学習プログラムのみで難関大学に現役で合格しているため、あくまでも補助的な学習としてのみの利用としています。



青雲寮コース生を支える 生活サポート

青雲寮コース生の生活がより快適になるよう、青雲寮には仲間どうして楽しむことができるさまざまなアメニティを用意しています。

仲間との交流・絆を深める 充実したアメニティ

平日・土日祝日ともに18:50の寮生ホームルームまでの時間は、青雲寮コース生は自由に生活することができます。部活動に参加する寮生も多く見られますが、部活動のない日は早めに入浴したり、食事をとったり、売店で買い物したりと、ゆったりと過ごすことができます。青雲寮コース生の生活が快適になるよう、青雲寮では充実した多数のアメニティを用意し、仲間と楽しいひと時を過ごすことができます。

青雲寮は平日の外出は禁止となりますが、休日は17:30(冬季17:00)まで外出することもでき、夏季は自転車を貸し出しています。また、休日は体育館開放、グラウンド開放、映画鑑賞会を行うほか、月に一回は外で楽しめるレクリエーションを開催しています。



自動販売機



売店



TV鑑賞



新聞・雑誌



動画鑑賞



パソコン貸出



iPad貸出



楽器演奏



ピアノ(電子ピアノ)4台



屋外バスケットボールコート



休日グラウンド開放



休日テニスコート開放



休日体育館開放



休日映画鑑賞会



自転車貸出(夏季の休日)



ボードゲーム貸し出し



卓球



将棋



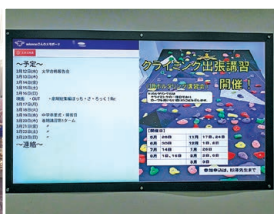
ミニ図書館



リラックスルーム



投げ斧ダーツ



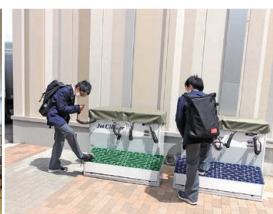
連絡用サイネージ



談話ルーム



各種トレーニングマシン



エアードスター

栄養バランスのとれた多彩な 食事メニュー

栄養バランスのとれた食事メニューが、青雲寮では毎日4食提供されています(夜食も提供)。朝食は和洋食のbuffet方式、昼食は3種類、夕食は2種類のメニューから選択、夜食はおにぎりや菓子パンなどの軽食を提供します。2025年度から、全国での給食委託で定評のある「コンパスグループ・ジャパン株式会社」が青雲寮コース生に多彩な食事を提供しています。

※通学生も青雲寮食堂で昼食をとることができます。※アレルギー食にも対応しています。



油淋鶏

プルコギボーク丼

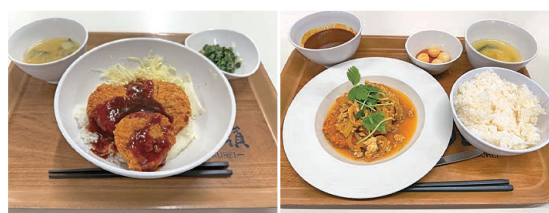
肉みそ温玉丼



のり弁風丼

ハムヨサダフライと唐揚げ

ハヤシライス



ヒレ & ロースカツ丼

カツ煮



ポークピカタ
オニオントマトソース

グリルチキン
シャリアピンソース



日	4月21日 (月)	4月22日 (火)
MORNING	選べるスープモーニング	
ビュッフェ	肉団子のチリソース	クラムチャウダー
	肉野菜炒め	チキンソテー
	フレッシュサラダ	豚汁
	フルーチェ イチゴ	鯖の照り焼き
	納豆	豚バラと大根の中華スープ
	わかめスープ	餃子
	ドリンク	ドリンク
LUNCH		
A定食	中津からあげ	味噌とんかつ
カレー	ハンバーグカレー	チーズチキンカレー
種	【イースター】 オムレツナポリタン	焼肉うどん
CHOICE小鉢	根菜のグリル 日替わりグリーンサラダ とろけるパンナ・コッタ	蒸し鶏と胡瓜の梅和え 日替わりグリーンサラダ 蒟蒻オレンジゼリー
DINNER		
A定食	シーフード ミックスフライ	鶏の黒胡椒炒め
B定食	チキンオーバーライス	肉豆腐丼
CHOICE小鉢	3種の豆とポテトの 辛子マヨ和え プリン	里芋の彩りあんかけ フルーツ寒天
MIDNIGHT SNACK		
夜食	つぶあんぱん	シュークリーム

1日のメニュー例

青雲寮コース生が楽しめる アクティビティ ～スタッフが指導して安全に使用～

青雲寮には、青雲寮コース生が休日に楽しむことができる多くのアクティビティが用意されています。青雲寮スタッフ指導のもと、「ドローン」の操縦、校舎の裏山内に整備されたコースを周る「バギー」や「スノーモービル」の操縦、寮内にある「ボルダリング」の体験ができます。また、フィンランド式サウナも2台あり、いつでも利用することができます。



サウナ

水風呂

バギー(夏季)

スノーモービル(冬季)

ボルダリング

Interviews 寮生による青雲寮コースの紹介

中学2年生(39期生)

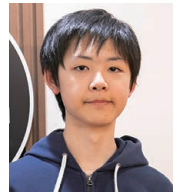
澁谷 風雅

Fuga Shibuya

北海道 帯広市立豊成小学校出身

学校見学会やオープンスクールに参加した際に、北嶺の先輩方が真剣に学習に向かう一方、仲間どうして楽しそうに遊んだり話したりする姿に惹かれ、私は青雲寮コースを選びました。実際に青雲寮に入寮し、良かったと感じる点が2つあります。1つ目は時間を意識した行動が身につくことです。寮では起床点呼・登校点呼・寮生ホームルームなど、決められた時間があるため、時間を考えて行動する力が自然と備わります。帰省して自宅で過ごすときでも、時間管理に気をつけて行動できるようになりました。

2つ目は、友人と助け合いながら学習できることです。友人に勉強を教えて、テストで良い点数を取ってくれたときは嬉しく、逆に友人に教えてもらって問題が解けたときの喜びや充実感は1人では味わうことができません。勉強や生活のさまざまな面で、同じことを「共有」できる素晴らしさがあります。



中学2年生(39期生)

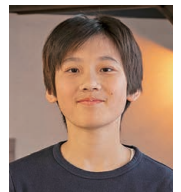
渡邊 奏汰

Sota Watanabe

山梨県 私立山梨学院小学校出身

山梨県出身の私が、北海道札幌市にある北嶺中学校を選んだ理由は、青雲寮では学習のサポートが充実しており、さらには、北海道ならではの多彩なレクリエーションに興味を惹かれたからです。

入学してすぐに「寮生ボウリング大会」があり、先輩や同級生のことを知るきっかけになりました。プール旅行、エスコンフィールドHOKKAIDOでのプロ野球観戦など、日々の生活の疲れを癒やすことのできるレクリエーションが多数あり、気持ちをリフレッシュすることで学習意欲の向上にもつながることが出来ます。昨年度、一番印象に残ったレクリエーションは酪農体験です。牛の搾乳体験は、牛への感謝と命の温かみを強く感じる事ができた、貴重な体験となりました。



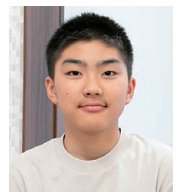
中学3年生(38期生)

脇本 寛太

Kanta Wakimoto

大阪府 大阪市立西天満小学校出身

大阪出身の私は、学習・生活サポートをしっかりと受けられる青雲寮コースに魅力を感じ入学・入寮しました。私が感じる青雲寮の魅力は2つあり、1つ目としては多彩なレクリエーションがあげられます。月に1回ほどで実施されるレクリエーションは、寮の仲間と楽しめるものばかりで、仲間との親交を深めることができます。2つ目として、青雲寮での休日の生活があげられます。仲間と外出して買い物をするほか、映画鑑賞、体育館開放、サウナ、ボルダリングなど、寮生が楽しめるものが青雲寮にはたくさんあります。映画鑑賞では観たい映画をリクエストでき、体育館開放では思いっきり体を動かすことができます。青雲寮にはまだまだ伝えきれない楽しさがたくさんありますので、ぜひ北嶺そして青雲寮見学に来てください。



高校1年生(37期生)

鈴木 悠翔

Haruto Suzuki

宮城県 宮城教育大学附属小学校出身

青雲寮に入るメリットは数えきれないほどありますが、中でも最も大きいと感じたことは、「仲間」ができることです。北嶺や青雲寮には医師をめざす生徒だけでなく、さまざまな考えや大きな夢を持った優秀な生徒が全国から集まっています。青雲寮は寝食を共にすることで、意気投合し、先輩、後輩を越えた「仲間」に出会うことのできる素敵な空間です。互いに教えあい、切磋琢磨して成長する「仲間」、信頼して腹を割って語り合える「仲間」、汗や涙を流してスポーツをする「仲間」、いろいろな形の「仲間」ができます。この仲間たちは、大学受験と一緒にめざすだけではなく、生涯支えあう「仲間」となると感じています。

そして、「仲間」とは生徒達だけではなく、先生方でもあります。先生方は時に優しく、時に厳しく、寮ならではの距離感で接してくれます。生徒にとって、先生方も悩みを打ち明けことができ、どんな時でも近くで見守ってくれる心強い「仲間」です。



高校1年生(37期生)

田堰 弘之佑

Konosuke Tazeki

埼玉県 さいたま市立辻南小学校出身

自身の自立のために、北嶺の青雲寮に入ることを親から勧められ、医学部に強い学校ということもあり、入学・入寮を決断しました。

青雲寮では、皆が決まった時間に学習するため、学習への切り替えがしやすく、周りから影響を受けることで、集中して取り組むことができます。また、学習内容につまずいたときには、OBチューターや寮教諭にすぐに質問することができます。そして、寮生限定の夜間講習では、学校の先生が授業の復習や定期試験の準備、授業の応用などを教えてくれるため、日々の授業の理解が進み、学習内容を定着させることができます。

青雲寮にはすばらしい学習環境があり、私達の学習を全力でサポートしてくれる先生方や、ともに勉学に励む志の高い仲間がたくさんいます。難関大学をめざす児童の皆さんも、一緒に青雲寮コースで生活してみませんか。



高校2年生(36期生)

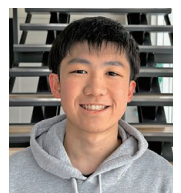
永嶋 睦

Mutsumi Nagashima

北海道 北見市立中央小学校出身

青雲寮には、各学年5名の寮生から構成された「青雲寮自治委員」があります。先生方の協力のもと、自分たちでも寮生活がより良くなるよう、レクリエーションや清掃活動など、さまざまな自治活動を行っています。青雲寮最大のイベント「クリスマス会」では、自治委員がすべて企画・運営を行い、クイズ・カラオケ大会の開催、食事の注文やビンゴ大会の景品の購入などをメンバーで協力して行います。寮生が盛り上がり、楽しむことができる場に貢献できることに、とてもやりがいや充実感を感じます。

毎年2回開催する「オープンスクール」では、自治委員が中心となって学校や青雲寮を案内し、北嶺の魅力を伝えさせていただきまので、ぜひご参加ください。



Messages 難関大学に合格した青雲寮の先輩からのメッセージ

東京大学 文科二類 合格

田沼 恭明

Yasuaki Tanuma 千葉県 松戸市立松ヶ丘小学校出身

私が青雲寮に入寮した理由は、大学受験を意識していたからではなく、単に地元から離れた場所での寮生活が楽しそうだったからでした。実際に青雲寮で過ごした日々は、想像以上に素晴らしい経験となり、一生の思い出として心に残っています。全国から集まる仲間たちと互いに刺激しあいながら生活を送るとともに、充実した環境で学習することができました。寮内では、学習のための時間とスペースが確保されているだけでなく、先生やOBチューターの方々からの手厚いサポートを受けられたお陰で、勉強に集中することができました。青雲寮での経験があったからこそ、今の自分があると言っても過言ではありません。ぜひ、自分の夢や目標に向かって、この青雲寮での環境を最大限に活用してみてください。



[34期生・現役]

東京大学 理科二類 合格

林 来楽

Kura Hayashi 北海道 斜里町立斜里小学校出身

私は、北海道のトップの仲間たちと切磋琢磨したいという思いで、北嶺中・高等学校への入学を決意しました。知床半島の斜里町という小さな町出身ということもあり、新たな環境や人間関係にうまく馴染めるか不安もありましたが、寮母さんや寮教諭の生活・学習サポートや、仲間と一緒に楽しくレクリエーションを通じ、すぐに順応することができました。

青雲寮では学習面のサポートも充実しており、常に身近に質問できる先生方がいる上、レベルの高い友人たちと教え合うこともでき、学力を大いに伸ばすことができました。優しい先輩やチューターもいる環境であることから、進路相談を通じて寮生活や大学生活の見通しも立てやすく、とても助けられました。

北海道の地方にお住まいのトップクラスの児童の皆さんも、北嶺に入学して高い嶺をめざしてみませんか。



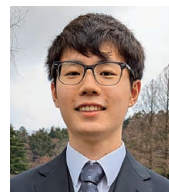
[34期生・現役]

東北大学 工学部 合格

鬼頭 宏輔

Kosuke Kito 愛知県 名古屋市立千年小学校出身

青雲寮コースでの手厚い生活・学習サポートを受けられれば、中学受験が終わってからも堕落せずに勉強に集中したメリハリのある生活を送れるのではないかと考え、北嶺への入学・入寮を決意しました。当初は、家族と離れて寂しさを感じましたが、生活をともに送る寮生どうしが家族のような関係へと変化していき、毎日の生活が楽しく充実したものになりました。私は青雲寮自治委員に所属しており、行事・清掃活動・オープンスクールでの学校・寮案内などでは、仲間の自治委員とともに立案や運営をしました。この活動を通じて、多くの先輩や後輩との仲を深めることができ、自分自身の成長にも大きくつながりました。学習面では、寮教諭やOBチューターに気軽に質問できるため、すぐに疑問点を解消できました。青雲寮には、ともに高みをめざす最高の仲間がいます。仲間とともに過ごす6年間は、人生を豊かなものにしてくれることでしょう。



[34期生・現役]

札幌医科大学 医学部医学科(学校推薦型 特別枠) 合格

佐々木 瑛大

Eidai Sasaki 宮城県 私立聖ドミニコ学院小学校出身

私は宮城県出身ですが、幼少から医師になりたいと考えており、その夢を実現させるため、医学部医学科の合格実績が高い北嶺中・高等学校・青雲寮への入学・入寮を決めました。寮生活に最初は不安でしたが、寮教諭・養護教諭・寮母さんが毎日声がけをしてくださり、体調面にもいつも気遣っていただきました。体調を崩して入院したときには、寮母さんは毎日面会に来てくださり、とても励まされました。また、全国から集まった友人との日々の生活では、さまざまな思いを共有することができ、私を大きく成長させてくれました。さらには、青雲寮では学習面のサポートにも大変助けられました。寮教諭やOBチューターにいつでも質問でき、学習意欲をつねに高められる学習環境にありました。青雲寮は日本一の寮だと感じていますので、小学生の皆さんも北嶺・青雲寮を一度見学して第一志望校としてください。



[34期生・現役]

旭川医科大学 医学部医学科 合格

服部 想吾

Sogo Hattori 愛知県 私立名進研小学校出身

北嶺・青雲寮の手厚い学習・生活サポートにより、私は現役で国公立医学部医学科の合格を手にすることができました。学校では、定期的に行われる面談を通じて精神的に安定して生活を送ることができ、集中して授業や日常講習に取り組めたため、着実に学力を伸ばすことができました。私にとって一番良かったことは、先生方による個別添削指導です。特に英語では毎日質問する私に対し、「また～」と言いながら先生方は丁寧に答えてくださり、苦手だった英作文に自信が持てるようになりました。青雲寮では寮母さんをはじめ、多くのスタッフの皆さんにいつも甘えさせてもらい、6年間の生活を仲間と楽しく伸び伸びと過ごすことができました。先輩・後輩を含め、私に関わるすべての方々のお陰で私は大学受験を乗り越えることができました。



[34期生・現役]

北海道大学 総合理系 合格

岡崎 賢

Ken Okazaki 北海道 喜茂別町立鈴川小学校出身

私は中学1年生の夏に入寮した後、高校1年生の時に一度休寮し、高校2年生の時に寮に再び戻りました。このように出入りが激しくなってしまう私を、親身になって支えてくださった青雲寮スタッフの皆さんには大変感謝しております。

寮生と通学生をどちらも体験した私が言える寮の最大の魅力は、やはり勉強に取り組める環境が整っていることだと思います。通学生のように通学や時間のことを気にする必要がなく、さまざまなことを話し合える友達に囲まれていたことは日々の学習意欲に大いに繋がりました。青雲寮コースは勉強漬けだけではなく、休日の体育館開放やレクリエーションなどで充実した生活を送ることができました。無事現役合格することができたのは、メンタルの弱い私をいつも励ましてくれた友人や先生方のサポートを受けられたおかげだと感じています。



[34期生・現役]

学習・生活を支援する 青雲寮スタッフ

青雲寮には、保護者の代わりとして生活をサポートする寮監・寮母、学習をメインにサポートする寮教諭、体調面の管理をサポートする養護教諭(看護師)、食堂・清掃・洗濯・売店などの多数のスタッフが常駐し、青雲寮コース生の学習や生活を親身になって支えます。たくさんの大人の目がすみずみに行き届くため、青雲寮コース生は安心して毎日を過ごすことができます。

青雲寮常勤 スタッフ 26名

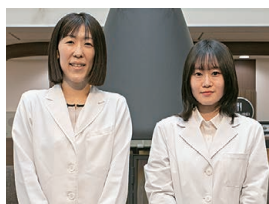
寮監長1名、副寮監長5名、寮母2名、養護教諭(看護師)2名、寮監4名、寮教諭12名(寮医1名 ※定期的に健康相談で往診)
※その他 食堂・清掃・洗濯・売店スタッフ、英会話スタッフ、北嶺OBチューター



寮監長・副寮監長



寮母



養護教諭(看護師)



寮監・寮教諭



青雲寮 寮医
本校OB 8期生
札幌北楡病院
柳 将人医師

現役医師／大学生チューター40名が登録

北嶺の先輩として、学習・進路指導を担当

北海道大学 医学部
医学科4年生

Shun Nishimura
西村 峻

北海道 札幌市立豊園小学校出身



北海道大学 医学部
医学科4年生

Atsushi Yamada
山田 篤司

北海道 札幌市立北九条小学校出身



札幌医科大学 医学部
医学科4年生

Masayuki Sato
佐藤 匡将

北海道 江別市立大麻西小学校出身



青雲寮では、寮生の学習をサポートするために、中学生の学習室や高校生の自室を巡回して寮生の学習を指導する大学生チューター制度があります。北嶺6年間の学校生活を経験したチューターは、寮生にとって最も身近な存在であり、勉強だけでなく、進路についての相談相手にもなります。チューターは北海道大学・札幌医科大学の医学部生が多く、受験勉強の進め方や効率的な学習法を教え、医学生としての学習や生活なども伝えることは、寮生の大学進学意欲を高める大きな原動力となります。寮での生活は勉強だけでなく、人間的な成長の場でもあります。寮生が充実した日々を過ごせるようサポートすることがチューターの大きな使命となっています。

午後7時から午後11時までの約3時間半にわたる学習時間は、寮生が集中して学習する大切な時間です。私たちの役割は、単に勉強を見守るだけでなく、課題に対するアドバイスや、疑問点に対する解決策を提供することです。勉強のペース配分や受験に向けた心構えなど、実体験に基づいた助言は寮生にとって参考になるものだと思います。

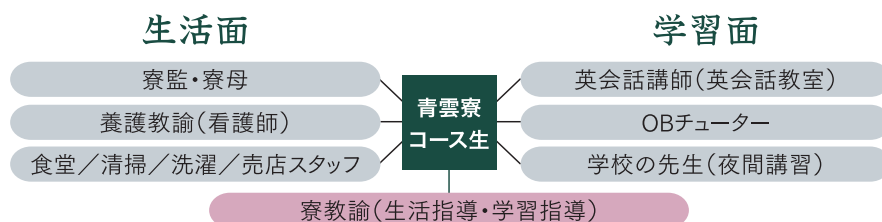
また、進路選択に向けての実践的な情報を提供し、どのように学習を進めていくべきかについて相談にも乗っています。

学習面でも進路面でも、私たちチューターは、ただのサポート役にとどまらず、寮生が自信を持って目標に向かって進む手助けをする存在であり続けたいと思っています。

チューターは国立大学医学部医学科の学生が多く、どの教科についても自信をもって寮生の学習の質問に回答することができます。自分と同じ間違いや失敗をしている寮生も多く、自分の経験を寮生に還元することができることに喜びと使命感を感じています。チューター制度をはじめ、さまざまな場面で北嶺生は社会で活躍する多くのOBと接することができます。さまざまな先輩から多くの刺激を受け、進路について真剣に考える貴重な時間が与えられるのも青雲寮コースの魅力だと思います。次世代の未来ある青雲寮生の夢を実現させられるよう、微力ながらお手伝いさせていただきます。

	13:00	13:30～16:30	16:30～18:50	18:50～19:00	19:00～23:00
寮教諭の1日の動向	出勤	5時間目～7時間目 学校の授業	青雲寮コース生の 生活指導	青雲寮コース生 HR	青雲寮コース生の学習指導

寮教諭は学校の午後の授業を担当しながら、放課後や夜間は青雲寮コース生の生活指導・学習指導を行います。12名の寮教諭は全員が学校の授業を担当しているため、青雲寮コース生の学習状況を把握しています。また、学校の先生方とも情報交換を行っているため、宿題提出状況、試験結果、授業の様子などで不安のある寮生に対し、面談指導や個別学習指導を行っています。



ワクチン接種を実施

青雲寮では寮医(本校OB医師)が定期的に往診し、青雲寮コース生の健康管理・健康相談を行います。また、冬のインフルエンザの流行に備え、毎年秋には寮医によるインフルエンザの予防接種(希望者)を青雲寮内で実施しています。



訪問理容サービス

遠方から入寮している青雲寮コース生は、2か月以上実家に帰れないことがあるため、月に一度、青雲寮で訪問理容サービスを行っています(※別途費用)。多くの寮生が利用し、大変好評を得ています。



青雲寮寮歌(北嶺生応援歌) ～シンガーソングライター半崎美子さん作詞・作曲～

青雲寮コース生・北嶺生の生活を応援する「青雲寮寮歌(北嶺生応援歌)」を、シンガーソングライターの半崎美子さんに楽曲制作を依頼し、半崎美子さん作詞・作曲「道なき未知へ」が2021年11月に完成しました。歌詞にある、「誉れ高き心 共に磨いて明日を越えよう」、「焦がれ燃ゆる心 共に育み明日を灯そう」からは、希望に満ちあふれる若者たちに切磋琢磨しながら前に進んで欲しいという強い気持ちが込められています。朝の登校時には、青雲寮内や学校内でこの曲を流し、北嶺生は半崎さんのこの曲から勇気やエネルギーをもらっています。半崎美子さんには、生徒の歌唱指導の講師として、毎年、本校に來校いただいています。

※学校ホームページよりご視聴いただけます。



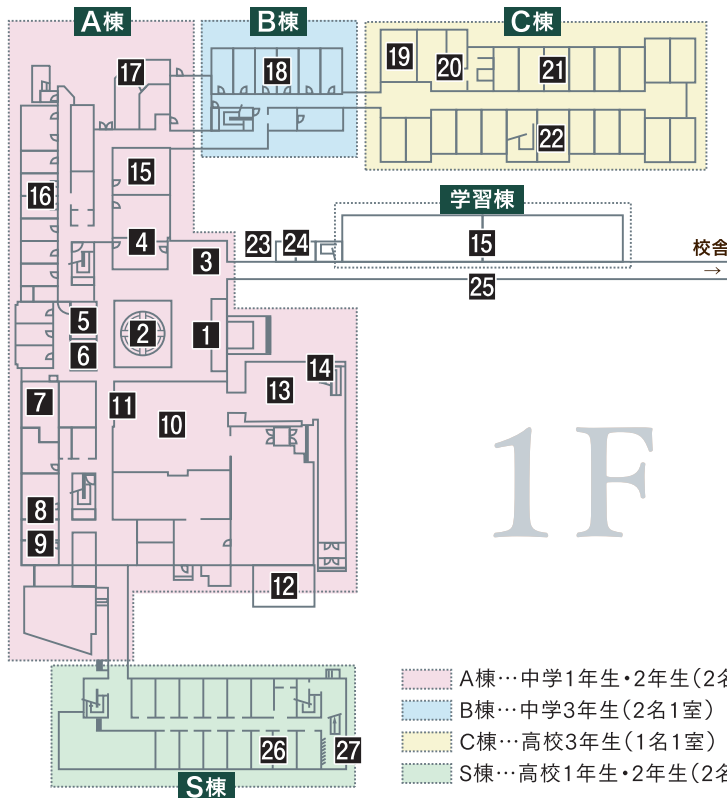
青雲寮1Fホール周辺が新しくなりました

通学や帰寮で毎日必ず通る「1Fホール」や「玄関」が改修され、広々とした居心地のよい空間が誕生しました。中央に設置された暖炉を取り囲むように、仲間とともに語らうことのできるソファが多数用意され、リラックスした時間を過ごすことができます。売店、冷蔵庫(冷凍庫)、シャワールームも新しくなり、青雲寮での生活がさらに快適なものになりました。



充実した毎日を過ごせる 青雲寮の施設

校舎と連結した青雲寮から学校への登校時間は0分。時間を効率的に使うことができるため、青雲寮生は学習や課外活動に熱心に打ち込むことができます。青雲寮には約250の寮室があり、中学1年生～高校2年生は同学年の2人部屋（年に5回ルームメイトを変更）、高校3年生は受験に集中するため1人部屋となります。中学生学習室、学年別の6つ



1 玄関



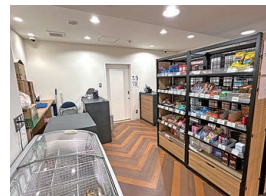
2 1Fホール(暖炉)



3 1Fリラックススペース



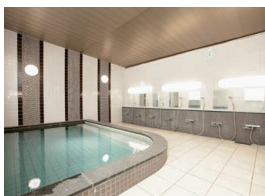
4 寮職員室



5 売店



6 共用冷蔵庫
※高校生は自室にも個別冷蔵庫



7 1F大浴場



8 洗濯コーナー



9 個別洗濯機
※高校生使用可



10 大食堂



11 自動販売機



12 ウッドデッキ
※夏季使用可



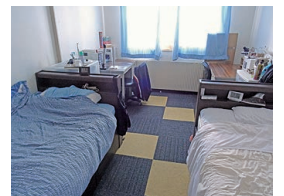
13 フリールーム



14 S棟リラックススペース



15 学年自習室



16 A棟寮室



17 シャワールーム



18 B棟寮室



19 C棟洗面室



20 C棟シャワールーム



21 C棟寮室

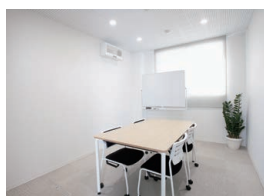
の自習教室、自習カウンター、補習室などのさまざまな学習教室が用意され、高校生は自分に合った環境で勉強することができます。また、400名が一斉に食事をとることができる大食堂をはじめ、2つの大浴場や多数のシャワールームもあり、青雲寮コース生は快適な生活を送ることができます。



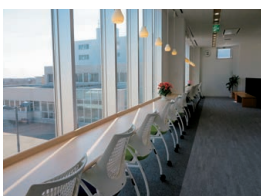
22 C棟ラウンジ



23 フィンランド式サウナ(2台)



24 面談室



25 学習棟自習カウンター



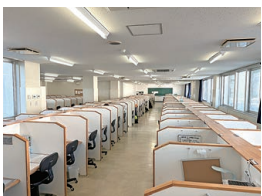
26 S棟寮室



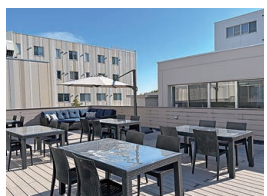
27 ボルダリングウォール



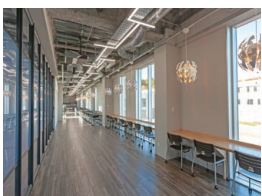
28 2Fホール



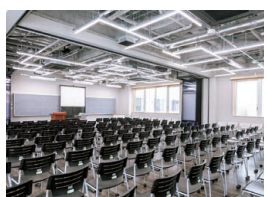
29 中学生学習室



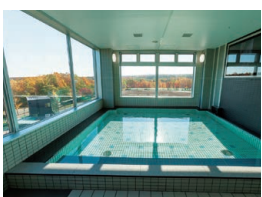
30 ルーフトップテラス
※夏季使用可



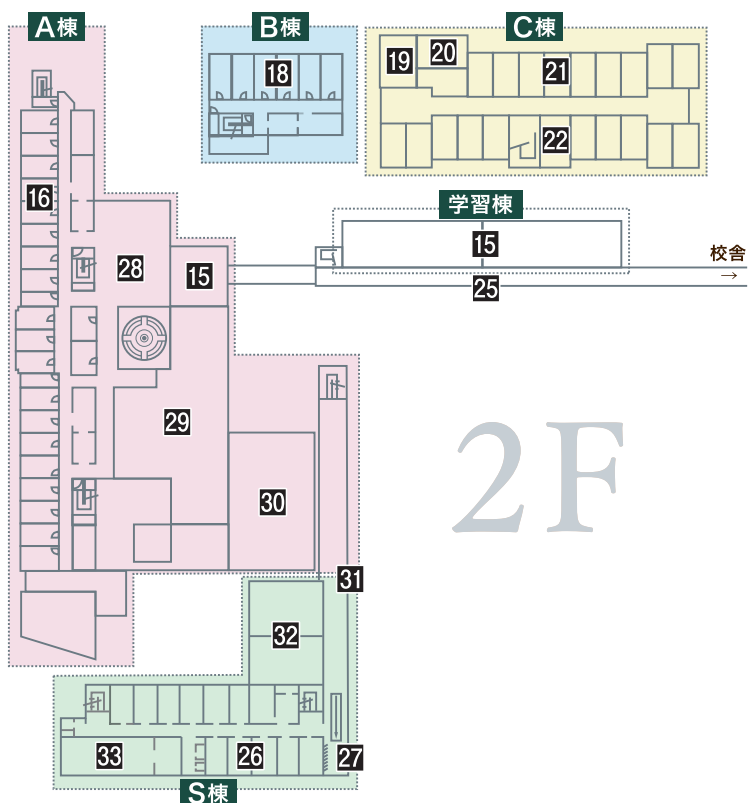
31 S棟自習カウンター



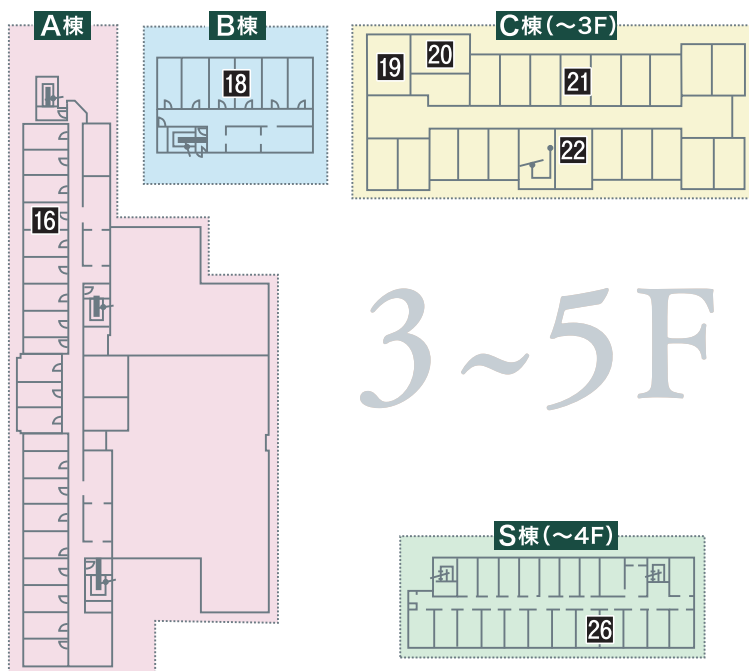
32 S棟集会ルーム



33 S棟展望大浴場



2F



3~5F

貴重な体験ができる レクリエーション(行事)

青雲寮では毎月、仲間どうしの交流を図ることのできる、さまざまなレクリエーション(行事)を実施しています。

北海道という環境を活かしたアクティビティも多数用意し、これらの活動を通じて友人関係をさらに深めていきます。青雲寮コース生自身が企画する行事もたくさんあり、学年を超えた交流を行うこともできます。休日を利用して校外で行うレクリエーションもたくさんあり、青雲寮コース生は普段体験することができない貴重な時間を過ごすことができます。

4月
April

- 入寮式 ◦食事会
- 新入寮生歓迎ボウリング大会

5月
May

- プロ野球観戦(エスコンフィールドHOKKAIDO)

6月
June

- 寮生vs教職員朝野球大会
- 温泉・プール旅行

7月
July

- 野外ジンギスカンパーティー

8月
August

- ニュージーランド語学研修・ホームステイ

9月
September

- ルスツ遊園地遠足

10月
October

- 野外ジンギスカンパーティー
- 農業体験(稲刈り)

11月
November

- 酪農体験
- プロバスケットボール観戦

12月
December

- クリスマスパーティー
- もちつき大会

1月
January

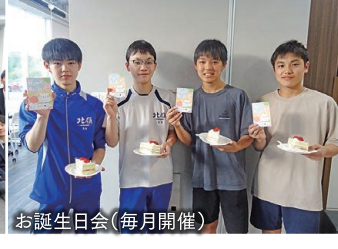
- 食事会
- テーブルマナー講習会

2月
February

- さっぽろ雪まつり見学ツアー

3月
March

- スキー遠足
- 卒寮式



青雲寮コースを知ろう 青雲寮コースQ&A

青雲寮には、全校生徒(750名)の半数以上となる395名が共同で暮らしています。
中学生からご家族のもとを離れて寮生活を送る上で、受験生・保護者の皆様には多くの不安や心配事があると思います。少しでも青雲寮の生活についてイメージを持てるよう、普段よくいただく質問内容をまとめた以下のQ&Aをお読みください。
青雲寮コースに興味のある受験生・ご家族の皆様は、必ず青雲寮をご見学いただき、ご家族全員が納得の上で入寮していただけますようお願いいたします。

◆青雲寮全般

Q.01	北嶺は全寮制か	希望者のみが入寮します。
Q.02	何人部屋か	中学1年生～高校2年生までは、同学年の2人部屋となります(年に5回、ルームメイトを変更)。高校3年生は、集中して受験勉強に取り組めるよう1人部屋となっています。
Q.03	ルームメイトの決め方は	事前に寮教諭と面談して、ルームメイトの希望を聞いて決めます。
Q.04	途中の入寮は	定員に空きがあれば入寮できますので、その際は学校にご相談ください。なお、通学生で保護者が転勤などで住居が変わり、通学できなくなる場合は青雲寮に入寮することができます。
Q.05	途中の退寮は	通学圏内の生徒は退寮しても問題ありませんが、遠方の生徒は保護者が通学圏内に移住すれば通学生として通学することができます。
Q.06	寮の費用は	寮費116,000円/月、保護者会費4,000円/月、暖房費30,000円/年をいただいています。寝具代(希望者)やレクリエーション代などで、別途費用がかかります。なお、寮費には食費・光熱費・学習指導費など、基本的な生活に必要な費用はすべて含まれています。
Q.07	寮見学は	学校見学と合わせて、寮見学をすることができます。学校での生徒の様子をご覧いただきたいため、生徒が登校している平日・土曜日に見学が可能です。寮生活にはルールやマナーがありますので、入寮を希望される方は必ずご見学いただき、寮生活の説明を受けてください。 ※学校見学は本校ホームページから申し込むことができます。
Q.08	寮生活のメリットは	青雲寮には、北嶺中入試で選抜された学習意欲あふれる優秀な生徒が集まります。互いに切磋琢磨し合い、高いモチベーションを維持しながら難関大学進学をめざすことができます。また、自立心がつくとともに、集団生活における社会規範を学ぶこともできます。
Q.09	青雲寮コースのメリットは	寮生限定の夜間講習を受講できるほか、寮教諭や北嶺OBチューターの学習指導を受けられますので、効率的に学習を進めることができます。また、普段経験ができないさまざまなレクリエーションにも参加できます。
Q.10	寮生の通学時間は	学校に併設されているため、徒歩0分となっています。寮生は通学にかかる時間を、学習や課外活動に充てることができます。
Q.11	住民票の移動は	住民票を青雲寮に移す必要はありません。なお、入学時に住民票抄本を学校に提出していただきます。
Q.12	青雲寮コースの定員は	1学年60名(北海道20名、北海道以外40名)です。青雲寮コースを希望する受験生が多いため、北嶺中入試の結果で青雲寮コース生を選抜します。以下にある、2025年度北嶺中入試での選抜結果をご確認ください。

2025年北嶺中入試 「青雲寮コース」の合格者数/合格点 ●青雲寮コース定員 入学者120名のうち60名(北海道在住者20名、北海道以外在住者40名)

	特待選抜入試	一般入試		
		専願区分	併願(併願A)区分	併願B区分
青雲寮コース 出願者数	689名	137名	86名	189名
合格者数	125名	56名	41名	119名
青雲寮コース 合格点	324点	北海道232点 本州 254点	273点	282点
※学校合格点	324点	215点	235点	236点

※特待選抜入試の合格者は、自動的に青雲寮コースにも合格します(入寮の辞退可)。
※青雲寮コースの合格点は希望者が多いため、学校の合格点よりも高くなります。

◆帰省・帰寮

Q.13	帰省の時期や日数は	年に5回(GW7日間、夏休み25日間、秋休み5日間、冬休み25日間、春休み20日間)は必ず帰省してもらいます。
Q.14	帰省・帰寮時の交通手段は	「青雲寮」⇄「新千歳空港」・「地下鉄大谷地駅」間で、寮生専用の送迎バスを運行します。バスの発車時刻をあらかじめお知らせしますので、時間に合わせて旅券を手配してください。
Q.15	帰省は一人で行動するか	中学1年生の最初の帰省は、先輩が新千歳空港の出発ロビーまで案内しますのでご安心ください。
Q.16	帰省・帰寮の日程はいつわかるか	次年度の年間計画を3月に発表しますので、帰省・帰寮日に合わせて旅券を手配してください。
Q.17	帰省・帰寮時の荷物は	寮職員室にヤマト運輸の伝票(送り状)がありますので、自分で記載して寮職員室まで荷物を持参してください。また、帰寮時は帰寮日の着日指定で荷物を送ってください。
Q.18	長期休みに寮に残れるか	ご家族で過ごす時間も大切ですので、基本的に長期休みは寮に残ることはできません。ただし、高校3年生は大学受験に向けた講習がありますので、希望者は寮に残ることができます。

◆生活面(家具や設備)

Q.19	家具等の持ち込みは	机・ベッド・タンスを用意していますが、必要であれば簡易衣装ケースを1個まで持ち込めます。共用生活となりますので、あまり荷物を持ち込まないでください。自室と学習室用の電気スタンド2個、入浴時に使う小さなカゴがあると便利です。
Q.20	寝具の持ち込みは	自分に合った寝具を持ち込んで構いませんが、レンタル寝具(月2回シーツ交換)も利用できます(※別途費用)。
Q.21	エアコンは	食堂や学習室などの共用部分、高校生の寮室はエアコンを設置しています。
Q.22	お風呂・シャワーは	2つの大浴場、30のシャワーブースがあり、決められた時間に使用することができます。また、サウナを利用することもできます。
Q.23	冷蔵庫は	中学生は、寮職員室前に設置した共用の冷蔵庫を使用します。高校生は自室の冷蔵庫を使用します。

◆生活面(お金や生活用品購入)

Q.24	貴重品(財布・携帯電話)の管理は	中学生の財布と携帯電話は、寮職員室で管理しています。高校生は原則自己管理となりますが、自室の金庫やセーフティーロッカーを利用することができます。
Q.25	生活用品の購入は	文具、ティッシュ、風呂・洗面用具などの生活用品は、青雲寮売店(週3回)で購入できます。休日に、近隣のスーパーに買い出しにいく寮生もいます。
Q.26	お菓子や飲み物の購入は	青雲寮の売店(週3回)で、お菓子や飲み物を購入(400円まで/回)できます。ジュース・アイス・お菓子・カップラーメンなどの自販機も設置しています。
Q.27	お小遣いは	青雲寮の売店を利用した場合は、入寮時に申請した口座から引き落としとなります。現金が必要な場合は、事前に寮職員室に申請する必要があります(1,000円まで/週)。なお、高額な現金が必要になる場合は、事前に保護者に電話等で確認させていただきます。
Q.28	売店、お小遣いの使用状況は	月に一度、売店利用額やお小遣い使用額をメール(mypa配信システム)にて配信しています。

◆生活面(その他)

Q.29	入寮時に持ち込むものは	Q.19にもありますが、1室2名での利用が基本となりますので、あまり荷物を持ち込まないでください。学習道具や着替え以外で必要になった場合は、その都度買い足しをしてください。
Q.30	寮での履物は	寮内では学校の上靴とは別の上履き(クロックスサンダルも可)を着用します。
Q.31	洗濯は	洗濯を担当する専門のスタッフがいますので、自分で洗濯する必要はありません。登校前に洗濯物を出すと、放課後にはできあがり、自分の洗濯物ロッカーに返却されます。自分の衣服とわかるよう、衣服の一部に寮生番号を記載していただきます。なお、高校生は個別の洗濯機・乾燥機を利用することができます。
Q.32	清掃は	共用部分は専門スタッフによる清掃を行います。自室は自分で清掃します(各フロアに掃除機を用意)。自室が汚くならないよう、定期的に寮教諭が清掃状況を確認します。
Q.33	門限は	平日は外出禁止、休日は17:30(冬季17:00)までに帰寮することになっています。保護者が同伴の場合は平日でも外出ができ、外泊もすることができます。外出・外泊の際は、寮職員室に必ず外出届・外泊届を提出します。

◆食事

Q.34	1日の食事の提供は	毎日「朝食・昼食・夕食＋夜食」の4食を提供しています(日曜は夜食なし)。
Q.35	自炊は	自炊はできませんが、給湯器や電子レンジがありますのでカップラーメンなどの軽食を作ることができます。
Q.36	アレルギー食への対応は	対応していますので、入寮時に必ずご相談ください。

◆休日

Q.37	休日の過ごし方は	土曜日の放課後13:30～17:30(冬季17:00)、休日の9:00～17:30(冬季17:00)は外出して、近隣のスーパーや書店に買い物に行くことができます。また、休日は青雲寮でゆっくり過ごせるよう、体育館開放・グラウンド開放・映画鑑賞会なども行っています。
Q.38	休日の交通手段は	徒歩10分ほどで、地下鉄福住駅行の路線バス停留所があります。
Q.39	自転車の貸し出しは	青雲寮には45台の自転車があり、夏季(5～10月)の休日は自由に利用できます(3時間までの貸し出し)。

◆インターネット・携帯電話・ゲーム機

Q.40	インターネットの使用は	青雲寮で貸し出しているパソコンやiPadでは、Wi-Fiを利用することができます。
Q.41	携帯電話・スマートフォンの持ち込みは	スマートフォンの持ち込みは禁止しています。必要な方は、ガラケー(フィーチャーフォン)型の携帯電話をご用意ください[LINEなどのアプリは使用可]。携帯電話の使用は休憩時間のみとなり、中学生は寮職員室に預ける必要があります。
Q.42	パソコン・ゲーム機・タブレットの持ち込みは	学校・寮での生活に集中するため、パソコン・ゲーム機・タブレットの持ち込みは禁止となっています。学校や寮に設置しているパソコン、寮で貸し出すiPadなどを利用してください。
Q.43	スマートフォン・パソコン・ゲーム機・タブレット・不要物の持ち込んだ場合は	スマートフォン・パソコン・ゲーム機・タブレットやその他の不要物を持ち込んだ場合は、保護者に送り返すとともに、停寮や退寮処分を受けることになります。その他、禁止されている物を持ち込んだ場合も同様になります。

◆ 娯楽・教養

Q.44	TVの設置や鑑賞は	寮内に8台設置していますので、自由時間に鑑賞することができます。また、特別なスポーツイベントがある場合は、許可を得れば鑑賞することができます。
Q.45	新聞や雑誌、書籍は	スポーツ新聞を含む、7種類の新聞や科学誌を購読しています。学校でも3種類の新聞、スポーツ誌や科学誌などを購読しています。学校には蔵書60,000冊の図書室、青雲寮にはミニ図書館があり、自由に本を借りて読むことができます。
Q.46	楽器の持ち込みや利用は	原則、持ち込みは禁止です。寮には電子ピアノ・エレキギター・アコースティックギター・ドラムがあるので、自由時間であれば使用できます。また、休日は学校に設置されたグランドピアノ(2台)も使用できます。どうしても楽器を持ち込みたい場合は、ご相談ください(寮職員室で預かります)。
Q.47	習い事は	平日は外出禁止となっていますので、習い事をすることはできません。中学に入学し環境が変わりますので、一度区切りをつけていただき、新たなことに挑戦してください。

◆ 健康面(病気・通院)

Q.48	健康相談は	養護教諭(看護師)が青雲寮に常駐していますので、いつでもご相談ください。また、定期的に青雲寮に寮医が往診する他、学校のカウンセラーと面談することもできます。
Q.49	既往症(持病)への対応は	入寮時に保護者と相談し、常駐の養護教諭(看護師)がサポートをしながら、自己管理ができるよう指導しています。
Q.50	通院が必要な場合は	青雲寮スタッフが病院に送迎し、病状や様子を保護者に連絡しています。一人で通院させることはありませんので、ご安心ください。定期的に通院が必要な場合は、曜日を決めて通院する寮生をまとめて送迎しています。
Q.51	病気(ケガ)や入院時は	保護者に連絡をとり、病院へ搬送します。入院が必要となった場合は、青雲寮スタッフが保護者の代行として対応します。入院となった場合は寮母が看病に行きますので、遠方から保護者が札幌に来る必要はありません。
Q.52	保険証は	入寮時に、必ず本人にマイナンバーカード(マイナ保険証)や資格確認書を持たせてください。
Q.53	ワクチン接種は	毎年秋に寮医が青雲寮内で、インフルエンザの予防接種を行います(希望者)。

◆ 学習面

Q.54	学習に遅れた場合の対応は	寮と学校は連携していますので、個別指導が必要な場合は寮教諭が個別の学習指導を行います。また、学校でも習熟が十分ではない生徒に対し、徹底した補習・追試を実施しています。
Q.55	通塾や家庭教師は	塾や予備校の代わりとして、学校の先生・寮教諭による「夜間講習」を受講できる他、寮教諭やOBチューターの学習指導を受けることができますので、通塾や家庭教師の必要はありません。どうしても家庭教師をつけたい場合は、青雲寮や学校にご相談ください。なお、希望者は、タブレット教材を利用したオンライン英会話・サテライン授業・Atamaなどの補助的な学習を認めています(※別途費用)。
Q.56	成績状況を知ること	定期試験の得点確認票、模擬試験の結果、通知票をメールにて送付しています。また、定期的に寮教諭から保護者の方に電話連絡をさせていただいています。何かご不安なことがありましたら、いつでも青雲寮や学校にご連絡ください。
Q.57	延灯学習はできるか	23:30には消灯となりますが、中学生は～24:30、高校生は～25:00まで学習することができます。

◆ 保護者

Q.58	寮生との面会は	保護者・ご家族の方は、いつでも面会することができます。また、遠方からお越しの場合、保護者同伴であればいつでも外出・外泊することができます。
Q.59	保護者の来校(来寮)は	6月・10月の授業参観、7月の学校祭、10月のラグビー大会、11月の柔道大会で来校(来寮)する方が多いですが、参加は任意となりますので、来校(来寮)いただかなくても構いません。
Q.60	青雲寮への宿泊は	保護者・ご家族の方は青雲寮に宿泊できませんので、近隣の宿泊施設を利用してください。
Q.61	連絡を取りたい場合は	携帯電話を持っている寮生は、自由時間・休憩時間に連絡をとることができます。急ぎの場合は、青雲寮へ直接お電話ください。放送にて電話口まで呼び出します。
Q.62	寮生活の様子を知ること	青雲寮ブログに、写真や動画(レクリエーションのとき)を毎日更新しています。
Q.63	寮と家庭の連絡は	寮教諭を中心に、定期的に保護者に電話連絡をさせていただいています。また、学校や寮からのお知らせ・お便りは、メール(mypa配信システム)にて配信しています。
Q.64	郵便物・宅配物を送ることは	個人あてに郵便物や宅配物を送付することができますが、冷蔵や冷凍が必要な物の送付はご遠慮ください。また、必要以上に物品を送付するのをお控えください。

◆ 防災・安全

Q.65	災害時(地震など)の対応は	本校は標高120mに位置していますので、津波の心配はありません。災害時に備え、毛布・懐中電灯・携帯ラジオ・3日分の非常食と飲料水を備蓄しています。
Q.66	寮のセキュリティは	夜間は玄関を施錠するとともに、屋内外の必要な場所に防犯カメラを多数設置しております。



青雲寮S棟が完成、快適な生活空間へと進化
～充実した生活・学習環境が整いました～

学校HP



学校見学会への
参加はこちらから

X



最新の学校情報は
こちらから



学校法人 希望学園

北嶺中・高等学校

〒004-0839 札幌市清田区真栄448番地の1
TEL.011-883-4651(代表) FAX.011-884-1616

青雲寮 TEL.011-881-9431 FAX.011-881-9440

詳しくはホームページから

<https://www.kibou.ac.jp/hokurei/>

ほくれい



で検索